

平成 2 2 年国勢調査結果速報

- 要計表による北九州市の人口及び世帯数 -

平成 23 年 2 月 22 日
平成 22 年国勢調査北九州市実施本部
担当課：企画文化局政策部企画課
582-2135

平成 22 年国勢調査結果速報

この速報は、平成 22 年 10 月 1 日現在で実施された国勢調査の結果を要計表に基づき、本市が独自に集計したものです。

なお、この速報値は、後日、総務省から公表される数値とは、異なる場合があります。
要計表とは、国勢調査区ごとに世帯数・人口を集計したものです。

【結果要約】

人口 977,288 人（平成 17 年国勢調査 993,525 人）

平成 17 年から 16,237 人， 1.63%の減

世帯数 421,199 世帯（平成 17 年国勢調査 413,510 世帯）

平成 17 年から 7,689 世帯， 1.86%の増

1 人 口

平成 22 年 10 月 1 日現在で実施された国勢調査による北九州市の人口は、977,288 人となっています。

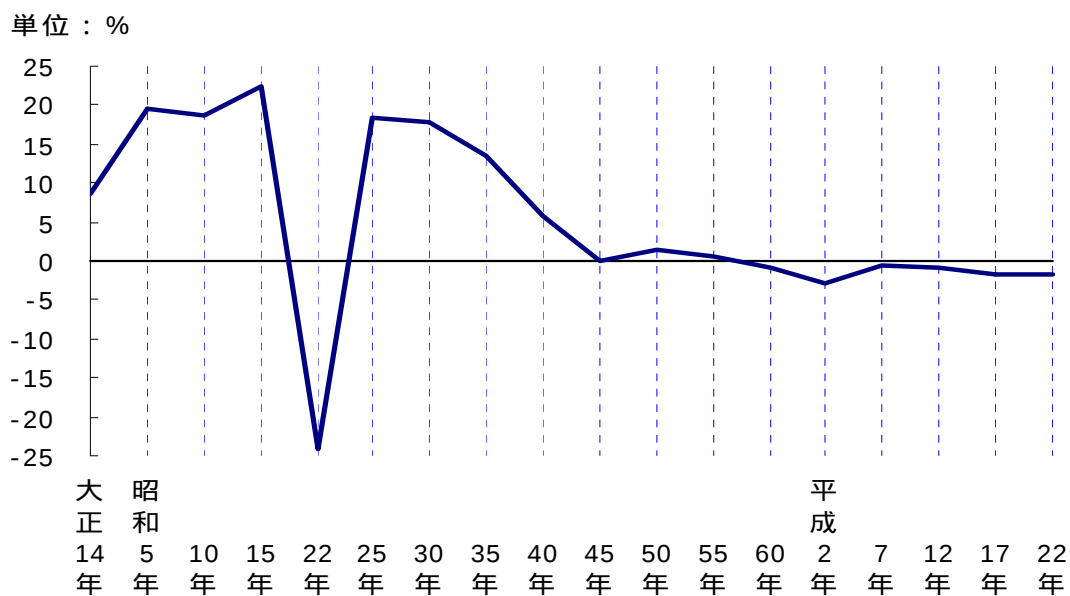
これを平成 17 年調査の結果と比較すると、16,237 人の減となり、増減率は 1.63% となっています。

（ 1 ）人口の推移

第 1 回調査(大正 9 年)で 433,325 人であった市域人口は、昭和 5 年調査で 50 万人を超え、門司、小倉、若松、八幡、戸畑の 5 市合併後の昭和 40 年調査では 100 万人を突破し、以降増加を続けましたが、昭和 55 年調査の 1,065,078 人をピークに減少に転じました。

その後も引き続き人口は減少し、平成 2 年調査では 2.83%減と減少幅が拡大した後、平成 7 年調査では 0.67%減、平成 12 年調査では 0.80%減と減少幅は緩やかなものとなっていました。平成 17 年調査では 1.77%減と減少幅が拡大しましたが、今回の平成 22 年調査では 1.63%減と減少幅が若干縮小しています。

【人口増減率の推移】



【人口の推移】

人口の推移

回	国勢調査 実施年	世帯数	人 口	人 口 増減数	人 口 増減率 (%)	1世帯 当たり人員
第 1 回	大正9年	94,689	433,325	-	-	4.58
第 2 回	14年	104,387	471,241	37,916	8.75	4.51
第 3 回	昭和5年	120,659	563,349	92,108	19.55	4.67
第 4 回	10年	136,560	669,392	106,043	18.82	4.90
第 5 回	15年	166,938	818,950	149,558	22.34	4.91
第 6 回	22年	143,328	622,417	196,533	24.00	4.34
第 7 回	25年	164,581	736,895	114,478	18.39	4.48
第 8 回	30年	190,424	868,392	131,497	17.84	4.56
第 9 回	35年	234,488	986,778	118,386	13.63	4.21
第 10 回	40年	271,365	1,042,688	55,910	5.67	3.84
第 11 回	45年	297,232	1,042,620	68	0.01	3.51
第 12 回	50年	323,978	1,058,442	15,822	1.52	3.27
第 13 回	55年	351,310	1,065,078	6,636	0.63	3.03
第 14 回	60年	358,382	1,056,402	8,676	0.81	2.95
第 15 回	平成2年	367,341	1,026,455	29,947	2.83	2.79
第 16 回	7年	388,741	1,019,598	6,857	0.67	2.62
第 17 回	12年	408,080	1,011,471	8,127	0.80	2.48
第 18 回	17年	413,510	993,525	17,946	1.77	2.40
第 19 回	22年	421,199	977,288	16,237	1.63	2.32

(2) 区別人口

区別の人口は、八幡西区の 257,115 人(構成比 26.31%)が最も多く、小倉南区 214,883 人(同 21.99%)、小倉北区 182,017 人(同 18.62%)と続き、以下門司区 104,550 人(同 10.70%)、若松区 85,233 人(同 8.72%)、八幡東区 71,873 人(同 7.35%)、戸畑区 61,617 人(同 6.30%)の順となっています。各区の構成順位は平成 17 年調査と変わっていません。

平成 17 年調査からの人口の増減については、小倉南区 259 人(0.12%増)のみ増加しましたが、八幡東区 3,941 人(5.20%減)、門司区 4,127 人(3.80%減)、戸畑区 2,097 人(3.29%減)、若松区 2,107 人(2.41%減)、八幡西区 2,955 人(1.14%減)、小倉北区 1,269 人(0.69%減)の 6 区で減少しています。

【区別人口】

行政区	人口			増減数		増減率(%)	
	12年	17年	22年	12/17	17/22	12/17	17/22
北九州市	1,011,471	993,525	977,288	17,946	16,237	1.77	1.63
門司区	114,750	108,677	104,550	6,073	4,127	5.29	3.80
小倉北区	187,684	183,286	182,017	4,398	1,269	2.34	0.69
小倉南区	213,372	214,624	214,883	1,252	259	0.59	0.12
若松区	89,560	87,340	85,233	2,220	2,107	2.48	2.41
八幡東区	80,608	75,814	71,873	4,794	3,941	5.95	5.20
八幡西区	260,452	260,070	257,115	382	2,955	0.15	1.14
戸畑区	65,045	63,714	61,617	1,331	2,097	2.05	3.29

【区別人口構成比】

区別人口構成比(%)

	門司区	小倉北区	小倉南区	若松区	八幡東区	八幡西区	戸畑区
12年	11.34	18.56	21.10	8.85	7.97	25.75	6.43
17年	10.94	18.45	21.60	8.79	7.63	26.18	6.41
22年	10.70	18.62	21.99	8.72	7.35	26.31	6.30

0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 %

2 世帯

(1) 世帯数

世帯数は、421,199 世帯となり、42 万世帯を超えました。平成 17 年調査と比べて 7,689 世帯、1.86%の増加となっています。

区別にみると、八幡西区の 107,541 世帯がもっとも多く、次いで、小倉北区 88,938

世帯、小倉南区 86,552 世帯、門司区 44,216 世帯、若松区 33,704 世帯、八幡東区 32,129 世帯、戸畑区 28,119 世帯の順となっています。

平成 17 年調査からの世帯数の増減については、八幡西区 3,700 世帯(3.56%増)、小倉南区 2,836 世帯(3.39%増)、若松区 950 世帯(2.90%増)、小倉北区 1,479 世帯(1.69%増)で増加しましたが、八幡東区 830 世帯(2.52%減)、戸畑区 298 世帯(1.05%減)、門司区 148 世帯(0.33%減)で減少しています。

【区別世帯数】

行政区	世帯数			増減数		増減率(%)	
	12年	17年	22年	12/17	17/22	12/17	17/22
北九州市	408,080	413,510	421,199	5,430	7,689	1.33	1.86
門司区	45,776	44,364	44,216	1,412	148	3.08	0.33
小倉北区	85,432	87,459	88,938	2,027	1,479	2.37	1.69
小倉南区	80,348	83,716	86,552	3,368	2,836	4.19	3.39
若松区	32,272	32,754	33,704	482	950	1.49	2.90
八幡東区	34,043	32,959	32,129	1,084	830	3.18	2.52
八幡西区	102,090	103,841	107,541	1,751	3,700	1.72	3.56
戸畑区	28,119	28,417	28,119	298	298	1.06	1.05

(2) 1世帯当たり人員

1世帯当たり人員は2.32人となり平成17年調査の2.40人と比べて0.08人減少しています。

1世帯当たりの世帯人員の推移を見ると、昭和35年調査までは4人台で推移していましたが、昭和40年調査で4人を割り、昭和60年調査以降2人台となっています。

【1世帯当たり人員の推移】

単位:人

